

#08 「発信力で福祉を変える・医療を変える」

第5回 インターネットという手法 長坂 由佳先生

2A08001 介護福祉士 中山 早由里

私は精神科病院に勤務する介護福祉士です。

パソコンを始めたのは、誰よりも素晴らしい（笑）ホームページを作成したいと思ったからでしたが・・・それから早や12年、ブログは開設して7年経ったが未だにホームページ作成してはならず、一体私は何をやっていたのかと。そんな中、長坂先生のお話はとても興味深かったです。

ブログは多くの人に読んでもらいたいというよりも自己満足の日記でしかない。しかし、本当の本心を言えば・・・多くの方に読んで感想などもコメントして欲しいなども考えます。そのためのコツを長坂先生は分かりやすく説明下さいました。

まずネットという膨大な海の中からホームページをリポートして頂くコツですが、①目的②目標③ターゲット④コンテンツ⑤コンセプトを考えるということ
実は私自身が未だにホームページに着手できない理由は、目標、目的が漠然としていたということに、長坂先生のお話から気が付きました。

そしてホームページを作成した場合のコツですが、①文章が読みやすいこと3、4行で改行する②ページタイトルが正しくついていること③主催者が誰か分かること④色を使いすぎないこと⑤一ヶ月に一度は更新すること
この中で色を使い過ぎないというのは少し驚きでした。なんとなく、企業は多くの色が合って素人よりも派手・・・と思い込んでいました。

私が作成したいホームページ（イメージ）を記しておきたいと思います。

目的：障害者が差別偏見の無い社会でいかに暮らして行けるかを考えていく（施設でも精神病院でもない居場所のために）

目標：医療・福祉の情報交換を広げていく、また医療・福祉を極める

ターゲット：障害児・者の居る家族の立場の方、

ペルソナ：できれば比較的若い兄弟姉妹の立場の方の親亡き後の情報交換

コンテンツ：兄弟姉妹の障害者・児が、なんとか地域でどうにか暮らしていくにはどんな情報が必要であるのか。自治体、行政機関への働きかけを共にしていく為に必要なこと

コンセプト：障害があろうとなかろうと、上を向いて歩ける社会に

長坂先生のお話を聞いて、もう一度ホームページへの意欲が湧いてきました。
貴重なお話をありがとうございました。